


現場と事務所間の3Dデータのリアルタイム共有を実現

申請事業者：伸洋土木株式会社（宮崎市）
業種：建設業

コンサル事業者：株式会社久永 宮崎支店
業種：情報サービス・測量機器



3Dデータのリアルタイム共有により、関係者間での意思決定を円滑化！

取組の概要

導入部門：工事部

導入業務：施工管理業務

導入目的：測量作業の省人化と現場への移動時間の削減

導入技術：杭ナビショベル、遠隔臨場「Site-Live」

3Dデータ閲覧・共有ツール「KENTEM-CONNECT」

導入手法：杭ナビショベルにより、測量作業を省人化し、KENTEM-CONNECTにより、3Dデータの共有を実現。

導入費用：¥6,150千円（税抜）

（コンサル費用 ¥150千円、導入・他 ¥6,000千円）



取組の背景

●抱えていた問題点

- ・現場作業の中で、切り出し位置を示す丁張の設置や測量に特に人手を要している。
- ・社内検査や発注者の立ち合い検査の日程調整が必要で、現場代理人の負担が大きい。

●解決に向けた課題設定等

- ・3次元の設計データを重機に取り込む事で、モニター上で現在地、切り出し位置、設計との差異をオペレーターが確認することが可能となり、丁張の作業が不要となる。
- ・遠隔臨場システムの利用により発注者の立ち合い、進捗確認、測量データ確認が遠隔地からでも可能となる。

取組の成果

- ・丁張設置作業を、100%削減
丁張設置にかかる時間 3名×5日 → 0時間
- ・測量業務を、50%削減
測量業務にかかる時間 2名×4日 → 1名×4日
- ・立ち合い検査時間・検査日程調整時間を、100%削減
立ち合い検査時間 1回あたり 2時間 → 0時間